

## <第4議案>

### 2017年度収支予算(案)

16ページに2017年度収支予算案を示す。

#### <全体説明>

代表、常勤スタッフ2人の計3人体制を維持することを前提に、ほとんどの収入科目について新規開拓を含めた増額目標を設定するとともに、費用の見直しを行い、単年度で収支均衡予算とした。

#### 1. 会費収入について

16年度予算(611万円)とほぼ同額の610万円を目標とする。16年度決算額に比して67万3千円の増額となる。

#### 2. 事業収入・支出について

事業収入は16年度決算比約204万円の増額、事業費は約177万円の増額を見込む。

- 「イアブック」販売収入160万円、経費80万円で、差引80万円の収益を見込む。
- 「講演・執筆・出演」収入は50万円を見込む。
- 「情報サービス・調査受託」収入として、16年度決算より20万円多い200万円を見込む。
- 3月と6～7月にニューヨークで開かれる核兵器禁止条約交渉のための会議、および5月にウィーンで開かれる20年NPT再検討会議・準備委員会への派遣費用として、計60万円を見込む。
- 事業費の中に「事業委託費」という費目を新設する。例年支払ってきた米軍関連の調査謝金(年約15万円)は、以後ここから支出する。また、17年度はウェブ改装費用50万円をここから支出する。よって17年度は事業委託費として計65万円を計上する。
- 新設の「事業委託費」と区別しやすいようにするため、管理費の中の「業務委託費」を17年度より「事務委託費」と改称する。

#### 3. 寄付金収入について

一般寄付金は夏季、冬季を含めて200万円を目標に設定する。

前述の海外派遣費用に充当するための海外派遣寄付金は60万円を見込む。会員・『モニター』読者を中心に「海外派遣カンパ」を募るほか、クラウドファンディングなども活用する。

#### 4. 助成金収入について

各種助成団体への申請、「よこはま夢ファンド」への助成金申請(財源は同ファンドへの市民からの寄付金)によって、120万円を確保することを目指す。

#### 5. 管理費について

- 人員体制は代表と常勤スタッフ2人の3人体制とし、「給料・手当」、「法定福利費」、「福利厚生費」などの所要額と役員報酬(60万円)を見込む。
- 「協力研究員」1人分の支出として27万円を見込む。財源として「将来計画資金会計」から同額を繰り入れる。
- その他費用は16年度決算額を基準とし、所要の調整のうえ積算した。

——以上